

令和3年度春期 健康食品管理士認定試験問題

◎ 指示があるまで開かないこと。
(令和3年5月23日)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

注意事項

1. 解答時間は次のとおりとする。

13時00分～15時30分

2. 解答方法は次のとおりである。

- 1) 各問題には1から5までの五つの選択肢があるので、そのうち質問に適した答えを1つ選び、次の例にならってマークシート用紙に記入すること。

(例) 問題101. 県庁所在地はどれか。

- 1) 栃木市
- 2) 川崎市
- 3) 神戸市
- 4) 倉敷市
- 5) 別府市

正解は「3」であるからマークシート用紙の


101 (1) (2) (3) (4) (5) のうち (3) をマークして

101 (1) (2)  (4) (5) と記入すること。

- 2) 答案の作成には鉛筆を使用し、濃くマークすること。

良い解答の例:  (濃くマークすること)

悪い解答の例:    (解答したことにならない)

- 3) 答えを修正した場合は、必ず消しゴムであとが残らないように完全に消すこと。鉛筆の色を残したり「」のような消し方などをしたりすると、修正したことにならないので注意すること。

- 4) マークシートは折り曲げたりメモやチェックで汚したりしないように注意すること。

- 5) この問題用紙は持ち帰ること。

問題 1. 平成 30 年に死因の第 1 位はどれか。

- 1) 肺 炎
- 2) 自 殺
- 3) 悪性新生物
- 4) 不慮の事故
- 5) 脳血管疾患

問題 2. 「がん予防の 10 か条」で最も頻度が高く出てくる注意すべき事項は何についてか。

- 1) 禁 煙
- 2) 運動習慣
- 3) 食生活習慣
- 4) ストレスの軽減
- 5) 無添加食品へのこだわり

問題 3. 食品の第 2 次機能に最も関係するのはどれか。

- 1) 卵のたんぱく質のアミノ酸が筋肉となる。
- 2) こんにゃくが刺身でおいしく食べられる。
- 3) ブルーベリーのアントシアニンが目の機能を助ける。
- 4) にんにくのアリールがビタミン B₁ の吸収を促進する。
- 5) うどんのでんぷんが ATP 生成のエネルギー源となる。

問題 4. 「食物や栄養素が健康や病気におよぼす影響を過大に評価すること」を通常どのような言葉で表記するか。

- 1) フードリスク
- 2) フードファシズム
- 3) フードファディズム
- 4) フードディフェンス
- 5) フードコンプライアンス

問題 5. サーチュン (Sirtuin) 遺伝子を活性化する赤ワインに含まれる物質はどれか。

- 1) シュウ酸
- 2) 没食子酸
- 3) クロトン油
- 4) フェロジビン
- 5) レスベラトロール

問題 6. 米国のダイエタリーサプリメントとして認められないのはどれか。

- 1) ハーブの濃縮エキス
- 2) 形状が粉末である製品
- 3) ビタミン C と A を共存させたカプセル
- 4) c GMP に準拠しないで製造された錠剤
- 5) 有効成分の過剰摂取で副作用が発現する製品

問題 7. 食薬区分とはどのような分類か。

- 1) 薬と食の 2 区分
- 2) 食品、医薬品、医薬部外品の 3 区分
- 3) 毒性の強い生薬、毒性の弱い生薬、いわゆる食品の 3 区分
- 4) 毒性の強い生薬、毒性の弱い生薬、毒性のない生薬を食品とする 3 区分
- 5) 毒性の強い生薬、毒性の弱い生薬、毒性のない生薬、いわゆる食品の 4 区分

問題 8. 食品としての使用に厚生労働省の判断を必要としないのはどれか。

- 1) 水で抽出した桑の根の成分
- 2) エタノールで抽出した梅の成分
- 3) エーテルで抽出したナツメの成分
- 4) クロロホルムで抽出したニガウリの成分
- 5) メタノールで抽出したオリーブの実の成分

問題 9. 食品として認められないのはどれか。

- 1) オウギの葉
- 2) オウゴンの茎
- 3) オウレンの葉
- 4) エンジュの葉
- 5) オウバク（キハダ）の樹皮

問題 10. ポリフェノールに共通する代表的作用はどれか。

- 1) 抗酸化
- 2) メイラード反応促進
- 3) α -グルコシダーゼ阻害
- 4) アデニル酸シクラーゼの活性化
- 5) アンギオテンシン変換酵素阻害

問題 11. アメリカにおいて好酸球増加・筋痛症候群（EMS）を発症させた健康食品はどれか。

- 1) バナジウム
- 2) グアノシン
- 3) エルソルビン酸
- 4) トリプトファン
- 5) アスタキサンチン

問題 12. インビトロ(in vitro)の実験も疫学調査のデータも健康によい筈の食品成分で、大規模な投与実験の結果が予想と逆になったのはどれか。

- 1) ビタミンA
- 2) スクアレン
- 3) β -カロテン
- 4) クレアチニン
- 5) トリプトファン

問題 13. 中国から輸入され死者を出したダイエット健康食品に含まれていた未承認医薬品はどれか。

- 1) アドレナリン
- 2) シデナイル
- 3) シブトラミン
- 4) システアミン
- 5) シガトキシン

問題 14. GMP 管理の総括管理者となれないのはどれか。

- 1) 新卒の薬剤師
- 2) 新卒の臨床検査技師
- 3) 理学部生物学科の新卒者
- 4) 工学部電気工学科の新卒者
- 5) 文系大学の出身者で品質管理に関する仕事に 3 年従事した者

問題 15. 動物を用いた安全性試験において、データの質の信頼性を確保、保証する試験管理システムはどれか。

- 1) Good Laboratory Practice (GLP)
- 2) Good Clinical Practice (GCP)
- 3) Good Quality Practice (GQP)
- 4) Good Vigilance Practice (GVP)
- 5) Good Post-Marketing Surveillance Practice (GPMSP)

問題 16. 特定保健用食品の許可を得るために行われる臨床試験の無作為化比較試験において統計的な有意差は何%以下であることが要求されているか。

- 1) 3 %
- 2) 4 %
- 3) 5 %
- 4) 8 %
- 5) 10 %

問題 17. 食物繊維の規格基準型特定保健用食品に記載しなければならない注意喚起はどれか。

- 1) 医師、薬剤師等と相談の上ご使用下さい。
- 2) カルシウムの吸収を抑制することがあります。
- 3) 血圧の薬を服用している方は使用しないで下さい。
- 4) 体質・体調によりおなかがゆるくなることがあります。
- 5) 血糖が低下しすぎることがありますので注意してください。

問題 18. 栄養機能食品の表示として正しいのはどれか。

- 1) クロールはペラグラに有効な栄養素です。
- 2) マグネシウムは糖尿病に有効な栄養素です。
- 3) ビタミンCはがん予防に有効な栄養素です。
- 4) ビタミンB₁は疲労回復に有効な栄養素です。
- 5) ナイアシンは皮膚や粘膜の健康維持を助ける栄養素です。

問題 19. 機能性表示食品に関して消費者団体が取り立てて問題としていない事項はどれか。

- 1) 高価格な商品が多すぎる。
- 2) システムティックレビューを悪用している。
- 3) 論文がCONSORT声明に準拠していない。
- 4) 特定保健用食品で不許可の食品が認められている。
- 5) 国外で機能性が認められていない食品が登録されている。

問題 20. リスクコミュニケーションの在り方として正しいのはどれか。

- 1) 薬に頼らず健康食品の使用を勧める。
- 2) 栄養素には摂取上限値があることを教える。
- 3) 効果は値段と相関しているので高価なものほど効き目は良いと教える。
- 4) 健康食品は食品なのでどれだけ食べても安全であると回答する。
- 5) 臨床データがあるものは医薬品レベルでの効果が期待できると説明する。

問題 21. プロビタミンDはどれか。

- 1) オロトン酸
- 2) リノール酸
- 3) トリゴネリン
- 4) ジブレニルアセタール
- 5) 7-デヒドロコレステロール

問題 22. トランスアミナーゼの補酵素となるビタミンはどれか。

- 1) レチノール
- 2) ピリドキシン
- 3) アスコルビン酸
- 4) シアノコバラミン
- 5) カルシフェロール

問題 23. 平成27年4月から栄養機能食品として認められた栄養素はどれか。

- 1) セレン
- 2) クロム
- 3) コリン
- 4) 食物繊維
- 5) n-3系脂肪酸

問題 24. 栄養機能食品成分のビタミンB₁に認められている表示はどれか。

- 1) 風邪の予防に有効な栄養素です。
- 2) 脂質の分解に必要な栄養素です。
- 3) 貧血の予防に有効な栄養素です。
- 4) 壊血病の予防ができる栄養素です。
- 5) エネルギー代謝に必要な栄養素です。

問題 25. 小麦アルブミンに認められている主たる血糖値上昇抑制作用はどれか。

- 1) 解糖系の促進
- 2) アミラーゼの阻害
- 3) グルカゴン分泌阻害
- 4) グリコーゲン合成促進
- 5) 組織への血糖取り込み促進

問題 26. コレステロール吸収抑制作用のある成分はどれか。

- 1) メバロン酸
- 2) ステアリン酸
- 3) グリチルリチン
- 4) γ -アミノ酪酸
- 5) 植物ステロール

問題 27. ACE阻害作用が認められて特定保健用食品となっている素材はどれか。

- 1) 酢 酸
- 2) グルタチオン
- 3) ロイコトリエン
- 4) 杜仲由来ゲニポシド酸
- 5) イソロイシルチロシン

問題 28. カルシウムの吸収を促進するのはどれか。

- 1) イソテルペン
- 2) スロース
- 3) アスパラギン酸
- 4) グルタミン酸ナトリウム
- 5) CPP (カゼインホスホペプチド)

問題 29. 虫菌菌の栄養素となりにくいのはどれか。

- 1) マンナン
- 2) マンノサミン
- 3) マルトース
- 4) マルチトール
- 5) マンノース

問題 30. 過剰摂取でしばしば低血糖ショックを起こすのはどれか。

- 1) リポ酸
- 2) 酪 酸
- 3) バレレン酸
- 4) グルクロン酸
- 5) パルミトレン酸

問題 31. 乳酸菌の発育を強く促進する食品成分はどれか。

- 1) 乳 酸
- 2) 寒 天
- 3) グルコン酸
- 4) ラフィノース
- 5) ヘミセルロース

問題 32. ダイエット効果のある物質として民間で使用されている健康食品はどれか。

- 1) クレアチン
- 2) メチオニン
- 3) カルニチン
- 4) オルニチン
- 5) キサンチン

問題 33. 紅麴の成分に認められる作用はどれか。

- 1) 糖取り込み促進
- 2) インスリン分泌促進
- 3) メイラード反応促進
- 4) α -グルコシダーゼ阻害
- 5) HMG-C o A還元酵素阻害

問題 34. 食事バランスガイド（基本形）について正しいのはどれか。

- 1) 肉や魚は副菜に入る。
- 2) コマの主食のすぐ下段は副菜である。
- 3) 果物の1つ（S V）はみかん2個分である。
- 4) 牛乳・乳製品の1日に摂る目標量は1 S Vである。
- 5) 主食の1 S Vはコンビニ標準おにぎり半分にあたる。

問題 35. 正しいのはどれか。

- 1) 胆汁酸は胆のうで作られる。
- 2) ペプシンはデンプンを分解する。
- 3) レプチンは強い食欲促進因子である。
- 4) 中鎖脂肪酸の吸収には胆汁酸が必須である。
- 5) 非ヘム鉄の吸収はビタミンCにより促進される。

問題 36. α -グルコシダーゼはどれか。

- 1) リパーゼ
- 2) ペプシン
- 3) トリプシン
- 4) スクララーゼ
- 5) スクレアーゼ

問題 37. 解糖系について正しいのはどれか。

- 1) NADを生じる。
- 2) 炭酸ガスを生じる。
- 3) 細胞質ゾルで行われる。
- 4) 分子状酸素を必要とする。
- 5) 酸化的なリン酸化を行う。

問題 38. アセチルC o Aとオキサロ酢酸が結合してできるT C A回路の成分はどれか。

- 1) リンゴ酸
- 2) コハク酸
- 3) フマル酸
- 4) クエン酸
- 5) 2-オキソグルタル酸

問題 39. 電子伝達系に必須なガスはどれか。

- 1) 窒 素
- 2) 酸 素
- 3) 一酸化炭素
- 4) 二酸化炭素
- 5) 一酸化窒素

問題 40. 骨格筋でグリコーゲンから直接グルコースが生成できないのはどの酵素の欠損によるか。

- 1) グルコキナーゼ
- 2) グリコーゲンシンターゼ
- 3) 6-ホスホフルクトキナーゼ
- 4) グルコース 6-ホスファターゼ
- 5) グリコーゲンホスホリラーゼ

問題 41. n-3系多価不飽和脂肪酸はどれか。

- 1) オレイン酸
- 2) リノール酸
- 3) パルミチン酸
- 4) アラキドン酸
- 5) イコサペンタエン酸

問題 42. リポたんぱく質について正しいのはどれか。

- 1) VLDLは小腸で作られる。
- 2) VLDLはLDLよりコレステロールの割合が高い。
- 3) HDLは肝臓から末梢組織中へコレステロールを運ぶ。
- 4) リポたんぱく質リパーゼはトリアシルグリセロールを分解する。
- 5) カイロミクロンは肝臓で作られたトリアシルグリセロールを運ぶ。

問題 43. ケトン体について正しいのはどれか。

- 1) 腎臓でつくられる。
- 2) 脳のエネルギー源である。
- 3) メバロン酸はその1つである。
- 4) 糖尿病では産生量が低下する。
- 5) アルカローシスの原因となる。

問題 44. 必須アミノ酸ではないのはどれか。

- 1) バリン
- 2) ロイシン
- 3) グリシン
- 4) メチオニン
- 5) フェニルアラニン

問題 45. 正しいのはどれか。

- 1) 尿素は肝臓で作られる。
- 2) 尿素回路はリボソームにある。
- 3) アンモニアは尿素より毒性が低い。
- 4) 尿素の生合成には一酸化窒素が必要である。
- 5) アンモニアはアミノ酸のカルボキシル基から生成する。

問題 46. 正しいのはどれか。

- 1) レニンは腎臓から分泌される。
- 2) カリウムは細胞外の主な陽イオンである。
- 3) 成人では体液の 1 / 3 が細胞内液である。
- 4) 1 g あたりの代謝水は脂質より糖質が多い。
- 5) 運動に伴って行われる水の排泄を不感蒸泄と呼ぶ。

問題 47. 正しいのはどれか。

- 1) 基礎代謝量は一般的に冬より夏の方が高い。
- 2) 基礎代謝量と体表面積とは負の相関を示す。
- 3) 内臓脂肪の運動による減少効果は皮下脂肪より小さい。
- 4) 基礎代謝量はサイロキシン（チロキシン）により上昇する。
- 5) 生理的熱量のアトウォーター係数は糖質の方が脂質より高い。

問題 48. RNAの構成成分でないのはどれか。

- 1) チミン
- 2) アデニン
- 3) グアニン
- 4) シトシン
- 5) ウラシル

問題 49. 通常賞味期限が記載されている食品はどれか。

- 1) おにぎり
- 2) 洋生菓子
- 3) 幕の内弁当
- 4) サンドイッチ
- 5) カップラーメン

問題 50. 栄養成分を表示する際、糖類は食品 100 g あたり何 g 未満なら「0」と表示できるか。

- 1) 0.5
- 2) 0.6
- 3) 0.7
- 4) 0.8
- 5) 0.9

問題 51. 食品の安全に関連する記述で正しいのはどれか。

- 1) 無添加食品は安全である。
- 2) 天然に存在するものは安全と考えてよい。
- 3) 危険という情報はメディアの記事になりやすい。
- 4) 残留農薬基準は 1 回摂取すると健康被害が起こる量として定められている。
- 5) 物質の危険性の判断には有るか無いかで重要で、「量」の概念は必要ではない。

問題 52. 罹患率を表す最も適切なのはどれか。

- 1) ある期間内の死亡数の割合
- 2) ある時点での疾病を有する者の割合
- 3) ある期間内に新たに疾病に罹患した者の割合
- 4) ある疾病に罹患した者があと何年生存するかを示したもの
- 5) ある疾病に罹患した者のうち、その疾病によって死亡した者の割合

問題 53. 疫学研究について、正しいのはどれか。

- 1) コホート研究では相対危険が計算できる。
- 2) 症例対照研究では寄与危険が計算できる。
- 3) 生態学的研究では因果関係が証明できる。
- 4) 横断研究は過去にさかのぼって調査する手法である。
- 5) 無作為比較対照試験はまれな疾患の調査に適している。

問題 54. 食品添加物について正しいのはどれか。

- 1) 指定添加物は農林水産大臣が指定する。
- 2) 既存添加物は指定制度の対象外である。
- 3) 食品としても使用できる添加物はない。
- 4) ネガティブリスト方式で定められている。
- 5) 天然香料は「既存添加物名簿」に記載されている。

問題 55. 食品添加物の表示で用途名併記が必要なのはどれか。

- 1) 酸味料
- 2) 調味料
- 3) 乳化剤
- 4) 漂白剤
- 5) かんすい

問題 56. 麻痺性貝毒と関連の深い物質はどれか。

- 1) アコニチン
- 2) アミグダリン
- 3) アフラトキシン
- 4) サキシトキシン
- 5) テトロドトキシン

問題 57. 残留農薬基準を定めている法律を管轄している省庁はどこか。

- 1) 環境省
- 2) 消費者庁
- 3) 農林水産省
- 4) 厚生労働省
- 5) 文部科学省

問題 58. 正しいのはどれか。

- 1) イタイイタイ病の原因は鉛である。
- 2) 無機水銀は有機水銀より毒性が強い。
- 3) アフラトキシンはカビ毒の一種である。
- 4) P C Bは米に蓄積して食品公害を引き起こした。
- 5) 調整粉乳によるヒ素ミルク中毒事件は工場排水が原因である。

問題 59. 傷病者の栄養量の基準について正しいのはどれか。

- 1) エネルギーの普通量は健常者の1.5倍にする。
- 2) ビタミン類は食事摂取基準の推奨量の2倍にする。
- 3) 脂質の制限が必要な場合は1日に30g以下を目安にする。
- 4) たんぱく質の普通量は1.5 g/kg 標準体重として算出する。
- 5) 体重を減らす必要がある場合は1500 kcal/日以下にする。

問題 60. 栄養状態の悪化を示すのはどれか。

- 1) 窒素出納が正
- 2) 体脂肪率の増加
- 3) 上腕筋周囲長の増加
- 4) クレアチニン身長係数の増加
- 5) 尿中3-メチルヒスチジンの増加

問題 61. ミネラルとその欠乏症として正しい組み合わせはどれか。

- | | | |
|-----------|-------|--------|
| 1) リン | _____ | 骨形成障害 |
| 2) マグネシウム | _____ | 貧血 |
| 3) 銅 | _____ | 虚血性心疾患 |
| 4) 亜鉛 | _____ | 筋萎縮症 |
| 5) セレン | _____ | 色素脱落 |

問題 62. 糖尿病の栄養療法として正しいのはどれか。

- 1) 蒸留酒なら飲酒してもよい。
- 2) 糖質はできるかぎり制限する。
- 3) オリーブ油は制限する必要がない。
- 4) エネルギー量は標準体重 1 kg あたり 25～30 kcal とする。
- 5) 食品交換表には 100 kcal 分の食品の g 数が示されている。

問題 63. 高血圧症と栄養療法について正しいのはどれか。

- 1) 食塩摂取量は 1 日 6 g 未満にする。
- 2) 市販の減塩治療食品は勧められない。
- 3) 血中ナトリウム値から食塩摂取量が推測できる。
- 4) 肥満者の場合はより厳しい食塩制限が必要である。
- 5) 食塩の代わりに塩化マグネシウムが利用されている。

問題 64. ネフローゼ症候群の栄養療法について正しいのはどれか。

- 1) 脂質を制限する。
- 2) エネルギーを厳しく制限する。
- 3) カリウムを制限することは少ない。
- 4) 薬物療法が中心なので食事療法は通常行わない。
- 5) たんぱく尿が顕著な場合はたんぱく質を付加する。

問題 65. 脂肪肝の栄養療法について正しいのはどれか。

- 1) 飲酒は特に制限しない。
- 2) 炭水化物中心の食事を避ける。
- 3) 脂質は1日に20g以下に制限する。
- 4) エネルギー量は30～35kcal/kg標準体重とする。
- 5) 非アルコール性脂肪性肝炎（NAFLD）に食事は関与しない。

問題 66. 胃切除後症候群に該当しない症状はどれか。

- 1) 栄養障害
- 2) 逆流性食道炎
- 3) 鉄欠乏性貧血
- 4) 過敏性腸症候群
- 5) ダンピング症候群

問題 67. 食物アレルギーについて正しいのはどれか。

- 1) 年齢と共に激しくなる。
- 2) 発症には通常2日以上を要する。
- 3) IgE抗体と抗原との過剰反応で起こる。
- 4) 食品を加熱してもアレルゲンは減少しない。
- 5) そばやピーナッツの食物アレルギーは穏やかな皮膚症状が現れる。

問題 68. 嚥下障害の栄養療法について正しいのはどれか。

- 1) 嚥下障害に回復は望めない。
- 2) 胃瘻を施行している患者は嚥下訓練ができない。
- 3) 嚥下障害の原因はパーキンソン病が最も多い。
- 4) 嚥下状態を画像で評価するためにCT検査を行う。
- 5) 嚥下障害者の食事にはゼラチンで固めたゼリーが良い。

問題 69. 医薬品の定義が規定されているのはどれか。

- 1) J A S 法
- 2) 日本薬局方
- 3) 景品表示法
- 4) 健康増進法
- 5) 医薬品医療機器等法（薬機法）

問題 70. 医薬品の経口投与で、吸収が高い部位は一般的に小腸である。その理由として正しいのはどれか。

- 1) 滞留時間
- 2) 比表面積
- 3) 酸性環境
- 4) 腸内細菌
- 5) 消化液の分泌

問題 71. 微量金属の存在で吸収が低下する可能性のないのはどれか。

- 1) セフジニル
- 2) ニフェジピン
- 3) ペニシラミン
- 4) ミノサイクリン
- 5) オフロキサシン

問題 72. ニフェジピン（降圧薬）の薬効を増強する可能性があるのはどれか。

- 1) ブドウジュース
- 2) リンゴジュース
- 3) オレンジジュース
- 4) パイナップルジュース
- 5) グレープフルーツジュース

問題 73. CYPについて誤っているのはどれか。

- 1) 異物代謝を行う。
- 2) 鉄が含まれている。
- 3) 尿酸で阻害される。
- 4) 肝臓に多く存在する。
- 5) 一酸化炭素と強く結合する。

問題 74. CYP 3A4を強く誘導することが知られている植物はどれか。

- 1) ク コ
- 2) ウコン
- 3) イチョウ
- 4) ドクダミ
- 5) セイヨウオトギリソウ

問題 75. ワルファリンの服用時に摂取を避けた方がよいのはどれか。

- 1) ビタミンB₂
- 2) ビタミンB₆
- 3) ビタミンC
- 4) ビタミンD
- 5) ビタミンK

問題 76. カフェインについて誤っているのはどれか。

- 1) 覚醒作用を示す。
- 2) 解熱作用を示す。
- 3) コーヒーに含まれている。
- 4) 主な代謝酵素はCYP 1A2である。
- 5) シメチジンはカフェインの血中濃度を高くする。

問題 77. 喫煙について誤っているのはどれか。

- 1) 医薬品の代謝酵素を誘導する。
- 2) 血液の酸素運搬を盛んにする。
- 3) 含有成分による肺がんの発生頻度は高い。
- 4) 気管支喘息の患者は禁煙することが望ましい。
- 5) 習慣性を示し、禁煙には相当な努力が必要である。

問題 78. ビタミンB₆との併用で薬効が低下するのはどれか。

- 1) レボドパ
- 2) ジゴキシン
- 3) ペニシラミン
- 4) ニカルジピン
- 5) トルブタミド

問題 79. 食品衛生法の対象とならないのはどれか。

- 1) 容器包装
- 2) 栄養表示
- 3) 食品添加物
- 4) 乳幼児のおもちゃ
- 5) 飲食器に使用する洗剤

問題 80. 一元化された食品表示法の施行年はどれか。

- 1) 平成24年
- 2) 平成25年
- 3) 平成27年
- 4) 平成29年
- 5) 平成30年

問題 81. J A S 法で定める農林物資で誤っているのはどれか。

- 1) 酒 類
- 2) 農産物
- 3) 林産物
- 4) 畜産物
- 5) 水産物

問題 82. 健康増進法で、国民健康・栄養調査に従事した公務員等（職員）が職務上知り得た人の秘密を正当な理由なく漏らした場合の罰則は以下のどれか。

- 1) 罰則なし
- 2) 10 万円以下の罰金
- 3) 100 万円以下の罰金
- 4) 1 年以下の懲役又は 100 万円以下の罰金
- 5) 3 年以下の懲役又は 100 万円以下の罰金

問題 83. 医薬品的な表現でないのはどれか。

- 1) 学力が向上します。
- 2) 血液を浄化します。
- 3) 新陳代謝を高めます。
- 4) 細胞を活性化します。
- 5) ミネラルは体の重要な構成成分です。

問題 84. 景品表示法の違反例はどれか。

- 1) 肥満を一気に解消する。
- 2) センナの茎を使用しています。
- 3) 免疫力を高める作用があります。
- 4) 「商品名」を一括表示の中に記載している。
- 5) 名称が製品をわかりやすく示すものになっていない。

問題 85. 電話勧誘販売におけるクーリング・オフの可能な期間はどれか。

- 1) 3 日
- 2) 8 日
- 3) 10 日
- 4) 14 日
- 5) 20 日

問題 86. 基準値（範囲）の一般的な設定について誤っているのはどれか。

- 1) 基準値の設定において、妊娠は除外要因にならない。
- 2) パラメトリック法では平均値±2標準偏差の範囲を基準範囲としている。
- 3) 基準値の設定では採血条件、人種、性、生活習慣などの変動因子を考慮する。
- 4) NCCLS の指針では基準値設定には120例以上の抽出標本を推奨している。
- 5) 基準範囲は基準個体が属する母集団の測定値の中央95%を含む数値範囲をいう。

問題 87. 血中成分について女性が高値を示すのはどれか。

- 1) Fe
- 2) CK
- 3) 尿酸
- 4) クレアチニン
- 5) HDL-コレステロール

問題 88. 特定健診について誤っているのはどれか。

- 1) 対象年齢は40歳以上70歳未満である。
- 2) 生活習慣病予防のための健診制度である。
- 3) 医療保険者に実施が義務付けられている。
- 4) 健診の対象者は被保険者及びその被扶養者である。
- 5) 内臓脂肪蓄積の程度とリスクの高さに応じて保健指導が行われる。

問題 89. 特定健診の検査項目に含まれるのはどれか。

- 1) 握力測定
- 2) 腹囲測定
- 3) 肺活量測定
- 4) アルブミン値
- 5) アレルギー検査

問題 90. 糖尿病について正しいのはどれか。

- 1) 合併症はほとんどない。
- 2) 慢性高血糖を主徴とする。
- 3) 尿糖陽性の場合は糖尿病と診断する。
- 4) インスリンの分泌過剰による疾患である。
- 5) 1 型糖尿病は遺伝子異常が主な原因である。

問題 91. 過去 1 ～ 2 ヶ月間の平均血糖値を反映している指標はどれか。

- 1) 糖化アルブミン
- 2) グルコサミン
- 3) フルクトサミン
- 4) ヘモグロビン A 1 c
- 5) 1,5-アンヒドログルシトール

問題 92. トリグリセリドの含有比が最も高い血清リポタンパクはどれか。

- 1) HDL
- 2) LDL
- 3) IDL
- 4) VLDL
- 5) カイロミクロン

問題 93. 骨粗鬆症について、誤っているのはどれか。

- 1) 女性に多い。
- 2) 高齢者に多い。
- 3) 骨強度の低下による。
- 4) 骨折のリスクが高まる。
- 5) 生活習慣による影響は受けない。

問題 94. 血圧について誤っているのはどれか。

- 1) 血圧は腎機能に左右される。
- 2) 収縮期血圧は加齢とともに上昇する。
- 3) 脈圧の増大は、動脈壁の進展性の上昇による。
- 4) 血圧は心拍出量と末梢血管抵抗の積で表される。
- 5) 高血圧患者の 95%以上が原因不明の本態性高血圧である。

問題 95. 急性心筋梗塞で増加するのはどれか。

- 1) A L P
- 2) 総蛋白
- 3) 赤血球数
- 4) 尿素窒素
- 5) C K-MB

問題 96. 急性腎障害で増加する血清成分はどれか。

- 1) A S T
- 2) A L T
- 3) A L P
- 4) アミラーゼ
- 5) クレアチニン

問題 97. 免疫グロブリンについて誤っているのはどれか。

- 1) I g DはB細胞の分化に関与する。
- 2) I g Aは2つのサブクラスがある。
- 3) I g Gは血中の含有量が最も多い。
- 4) I g Mは分子量が約90万と大きい。
- 5) I g EはIV型アレルギーに関与する。

問題 98. 再生不良性貧血について誤っているのはどれか。

- 1) 汎血球増加症である。
- 2) 好中球の減少を認める。
- 3) 骨髄における造血能低下による。
- 4) 多くは原因不明の本態性である。
- 5) 薬剤、放射線障害、中毒に続発する二次性のものもある。

問題 99. I 型アレルギーでないのはどれか。

- 1) 花粉症
- 2) 蕁麻疹
- 3) 即時型アレルギー反応
- 4) 浮腫、掻痒などの症状
- 5) I g Gを介した過剰免疫反応

問題 100. 健常成人の血液検査値として明らかに誤っているのはどれか。

- 1) 赤沈の1時間値が10 mm
- 2) ヘマトクリット値が45 %
- 3) 白血球数が1 μ Lあたり500個
- 4) 血小板数が1 μ Lあたり25万個
- 5) 赤血球数が1 μ Lあたり500万個